

2008 年 7 月 22 日
株式会社みずほコーポレート銀行

タタ・キャピタルとの業務提携に関する覚書締結について

株式会社みずほコーポレート銀行(頭取:齋藤 宏)は、このたび、インドタタ・グループの金融中核会社タタ・キャピタル・リミテッド(Tata Capital Limited、代表:Praveen P. Kadle)と、ニンジャ・ローン※等の各種金融プロダクツをはじめとする広範な業務分野において、タタ・キャピタルとの連携強化を目的とした覚書を締結致しました。

タタ・キャピタルは、タタ・グループの持株会社であるタタ・サンズ(Tata Sons)の 100%子会社として設立、ノンバンクとしてインド準備銀行に登録されております。

タタ・キャピタル及びその子会社は、7つの事業分野(リテールファイナンス、コーポレートファイナンス、ディストリビューション&ブローカレッジ、キャピタルマーケット、プライベート・エクイティ、ウェルス・マネジメント、地方金融)を通じ、リテールや法人顧客の多様なニーズに対応しています。

当行とタタ・キャピタルとは、本業務提携により、セミナーの共同開催やトレーニー相互派遣等を含め、広範な業務分野について連携を進めてまいります。

また、タタ・キャピタルは、本年 2 月、当行子会社であるみずほ証券とプライベート・エクイティやウェルス・マネジメント等をはじめとする業務分野で連携強化を目的とした覚書を締結しております。今後、当行はグループ内でも連携のうえ、幅広いサービスを提供してまいります。

【タタ・グループの概要】

1868 年、Jamseti Tata 氏により創設。現在の事業領域は、通信・IT、エンジニアリング、素材、サービス、エネルギー、コンシューマープロダクツ及び化学産業を手掛ける。

グループ上場会社 27 社の時価総額は 576 億ドル(08 年 6 月 19 日現在)と、インド国内では最大の事業者となっており、その株主は 290 万人に達する。

タタ・グループの主要企業としては、Tata Steel(製鉄会社)、Tata Motors(自動車メーカー)、Tata Consultancy Services(ソフト開発受託会社)、Tata Power(電力会社)、Tata Chemical(化学)、Tata Tea(紅茶・食品メーカー)、Indian Hotels(ホテル業)、Tata Communications(通信)等。07 年度の売上高(監査前ベース)は 550 億ドル超となる見込みであり、その 65%以上がインド国外。また、グループの世界各地の総従業員は約 35 万人に及ぶ。

以 上

※ ニンジャ・ローン

日本市場で資金調達する海外企業向けに、複数の国内金融機関が資金を出し合う新型の協調融資